

ケースブック刑事訴訟法 〔第4版〕

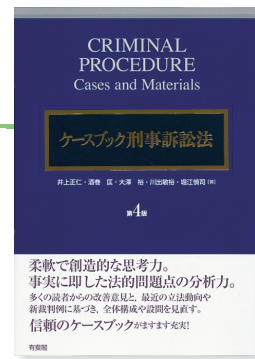
井上正仁 = 酒巻 匡 = 大澤 裕 = 川出敏裕 = 堀江慎司

2013年10月刊 / 720頁 / 6195円(税込)

B5変型判 / 上製

学習

LS



編集 担当者 から

ケースブックを判例集と理解しておられる読者の方も多いかもしれませんが、本書の内容で最も優れていて得難いのは、「Q (Question)」であろうと思っています。法科大学院の創設初年度の講義に間に合わせるべく、またソクラティック・メソッドに対応して使えるように、著者全員による侃々諤々の議論を経て出来上がったのが本書です。

判例によって刑事訴訟法を学ぶというのは、それまでに無かった取組みであり、「Q」を考え、3つのレベルを分けながら配列する作業は思っていたよりもずっと大変な事でした。講義で「Q」によって学生さんに何を問うのか、何を引き出したいのか、答えられるような聞き方になっているか、聞く順序は適切かなど、一つ一つの「Q」について行きつ戻りつの議論が何度も繰り返されました。幸い初版から好評をいただき、今般第4版を迎えましたが、各版のはしがきを是非読み返していただき、この本にかける著者の先生方の変わらぬ熱い思いを感じ取って、食らいついてみてください。(D)

Index

I

各論点ごとに厳選された判例と考え抜かれた3つのレベルの「Q」を配置。

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1 任意捜査と強制捜査 | 15 訴因の変更 |
| 2 職務質問・所持品検査 | 16 被告人・弁護人 |
| 3 任意同行と取調べ | 17 黙秘権 |
| 4 写真撮影 | 18 公判の準備と証拠開示 |
| 5 おとり捜査 | 19 拳証責任と推定 |
| 6 逮捕・勾留 | 20 証拠の関連性 |
| 7 令状による捜索・差押え | 21 自白の証拠能力 |
| 8 逮捕に伴う無令状の捜索・差押え | 22 補強証拠 |
| 9 強制採尿 | 23 伝聞証拠の意義 |
| 10 会話・通信の傍受 | 24 伝聞例外 |
| 11 身柄拘束中の被疑者と弁護人との接見交通 | 25 違法収集証拠の証拠能力 |
| 12 公訴権の運用とその規制 | 26 裁判 |
| 13 公訴提起の要件・手続 | |
| 14 訴因の明示・特定 | |